

# 学校ニュース

## 内之浦小学校

4月22日に、地震発生後の津波を想定した避難訓練を実施しました。本校は、太平洋に面しており、南海トラフ地震により津波が発生した場合、28分で津波が押し寄せることが想定されています。

全校児童と教職員は、学校近くにある叶岳ふれあいの森のボードウォークまで、555段の階段を登って避難しました。地震や津波は、いつ起こるかわかりません。この訓練を通して落ち着いて早く避難することの大切さを学ぶことができました。



5月15・16日に、本校5年生は集団宿泊学習を行いました。国立大隅少年自然の家や叶岳ふれあいの森を活動拠点にしながら1泊2日の活動を行いました。自分たちで作ったカレーは、ご飯炊きも含めて大成功。協力して作ったカレーにみんなで舌鼓を打ちました。インラインスケートやフライングディスクゴルフなど、充実した活動を行いました。

また、JAXA内之浦宇宙空間観測所では、職員の方の説明を聞きながら、自分たちが住む内之浦地区にあるロケット発射場についての理解を深めているようでした。天気の関係で、予定していたプログラムができない場面もありましたが、関わってくださった様々な方々の御協力の下、貴重な体験をすることができました。



5月17日に、内之浦漁協の方々の協力で、3・4年生がヒラメの放流を行いました。美しい砂浜が広がる内之浦の海に生きる魚について、普段からとても興味をもっている子どもたち。普段スーパーでしか目にする事のないヒラメの幼魚に、興味津々。

職員の方にヒラメの放流の仕方を説明をいただいた後、幼魚を放流しました。

児童が放流した小さなヒラメが、やがて大きくなって豊かな内之浦の海の資源となることでしょう。

